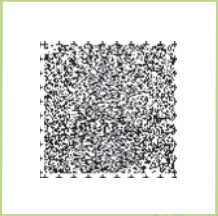




純粋に音楽を楽しみ、自由にカラフルなハーモニーを奏でる「キャンディビーツ」のメンバー

# ありば ヒューマン ドキュメント



障害福祉サービス事業所 セルプあいら

## 【キャンディビーツ】 始良市

音を通して自分と出会い  
人と出会い、社会と出会う

始良市の障害福祉サービス事業所「セルプあいら」で行われている音楽療法。その取り組みの中で結成されたのが通所者によるバンド「キャンディビーツ」です。音楽家の尾崎佳奈子さんによる音楽療養は、音を通して、音楽の楽しさや仲間との繋がりを体感し、自分と出会い、仲間と出会い、そして社会と出会うことで、さまざまな可能性を見出すというもの。

「Candy Beats」というバンド名には、メンバーがあめ玉が大好きなことはもちろんですが、あめ玉に



目と目を合わせて弾き始めのタイミングをはかる。音楽が生み出される前の静寂の時

音楽家の尾崎佳奈子さん。練習の始まりと終わりにメンバーが一人ずつタンバリンを鳴らして挨拶



は多彩な色や形、味があるように、年齢や障害にとらわれずにそれぞれの個性を生かしながら自由かつ純粋に音楽の世界を楽しんでほしいという思いが込められています。メンバーはサポーターの職員を含めて20〜60代の10人編成。演奏のレパートリーは童謡からポップス、ジャズまで幅広く、尾崎さんが弾くピアノに合わせてタンバリンや鈴、マラカス、ドラムなどが打ち鳴らされ、楽しげなリズムが空間に広がります。3年前に結成し、数々の発表会やステージを舞台上に活動しています。

心のビートを打ち鳴らし  
音楽家と奏でるハーモニー

尾崎佳奈子さんは、始良市在住のジャズミュージシャン

ン。幼い頃からピアノやクラリネットに慣れ親しみ、大学の音楽科を卒業後は、アルトサクソフラス奏者として独立。「尾崎佳奈子カルテット」や「ナウズ・ジャズ・オーケストラ」の奏者・アレンジャーとして、ライブやジャズバーを舞台上に活動。ジャズピアノの山下洋輔さんと共演するなど音楽表現の幅は広がるばかりです。



テンポのいい音楽に合わせて踊るメンバー。リズムの取り方やステップはさまざまだが、楽しそうな笑顔はみな同じ

社会福祉法人 ほのぼの会  
障害福祉サービス事業所 セルプあいら

始良市豊留9番地  
TEL 0995-66-3469  
FAX 0995-55-0635

